

## 模擬問題

### 多肢選択問題

#### (I 医療と生命倫理)

問1 次の文章を完結させる最適な用語の組み合わせはどれか。

医療の場で、必要な研究テーマは直ぐ思い付くが、その研究が人間の道を逸脱してはいないか、その研究結果が人間の将来を危うくすることはないかなどを考えない人は倫理観が欠如しており、人を  する気持ちを持ち合わせていないと云える。我々は、出会う患者を心から  し、常に  自分を提供できる人になれるよう  することが望ましい。

	a	b	c	d
1	統括	尊敬	謙虚な	研修
2	畏敬	協力	進歩した	学習
3	尊敬	協力	優秀な	認識
4	大切に	協力	一家主義の	研修
5	尊敬	尊敬	最善の	自己研鑽

問2 次の医療法に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 医薬品の使用に係わる安全確保のための体制の確保を行うこと。
- b. 薬剤師は、ファーマシューティカル・ケアを実践すること。
- c. 薬剤師は、医療の向上及び公共の福祉増進において薬の倫理を守ること。
- d. 薬剤師は、薬の適正使用のために必要な情報を提供すること。
- e. 薬剤師は、医師、歯科医師、看護師とともに医療の担い手であること。

1 (a, b)    2 (b, c)    3 (c, d)    4 (d, e)    5 (a, e)

問3 次の患者の権利に関する世界医師会リスボン宣言の記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. すべての人は、差別なしに適切な医療を受ける権利を有する。
- b. 患者は、一般的な治療を除いて、他の医師の意見を求める権利を有する。
- c. 医師は、自殺企図により意識を失っている患者に対して、家族の意向を重視して生命を救うよう努力すべきである。
- d. 患者は、医学研究あるいは医学教育に参加することを拒絶する権利を有する。
- e. 情報は、その患者をとりまく文化に適した方法で、かつ患者が理解できる方法で与えられなければならない。

- 1 (a, b, c)    2 (a, d, e)    3 (b, c, d)  
 4 (c, d, e)    5 (a, b, e)

## (II 疾病と病態)

問4 次の感染症に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. VRE (*vancomycin-resistant enterococci*) とは、バンコマイシン塩酸塩に対し耐性を獲得した肺炎球菌である。
- b. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) に有効な化学療法薬は、バンコマイシン塩酸塩、アルベカシン硫酸塩、テイコプラニンなどである。
- c. リバビリンは、C型慢性肝炎ウイルスに有効な抗ウイルス薬であり、インターフェロン $\alpha$ -2bまたはペグインターフェロン $\alpha$ -2aとの併用により抗ウイルス効果が増強される。
- d. ヒト免疫不全ウイルス (HIV) は、レトロウイルスと呼ばれ、CD<sub>4</sub>陽性のヘルパーT細胞に感染し、逆転写酵素によりDNAを鋳型としてRNAを合成する。
- e. ヘリコバクター・ピロリによる感染症の治療には、オメプラゾール、エリスロマイシン、アモキシシリンの3剤が用いられる。

- 1 (a, c)    2 (a, e)    3 (d, e)    4 (b, c)    5 (b, d)

問5 次の中枢神経系疾患に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 統合失調症は、一般に破瓜型、緊張型、妄想型の3型に分類される。
- b. 統合失調症の症状は、精神運動興奮、幻覚、妄想などの陰性症状と自発性減退、関心の消失、感情の平板化などの陽性症状に分けられる。
- c. パーキンソン病の臨床症候として、振戦、筋固縮、無動、姿勢反射障害が4主徴とされている。

- d. パーキンソン病の治療は、セロトニンの再取り込み抑制効果のある薬物による治療が中心となる。
- e. 遅発性ジスキネジアは、統合失調症治療薬などの抗コリン作用を有する薬剤の長期投与によって発現する常同的な不随意運動のことである。

1 (a, c)    2 (a, d)    3 (d, e)    4 (b, c)    5 (b, e)

**問6 次の心臓血管疾患に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。**

- a. 心臓の刺激伝導系の支配とは、洞結節での刺激が房室結節、ヒス束、右脚・左脚、プルキンエ線維を介して心室筋へと広がり、心室の収縮を引き起こすことをいう。
- b. 心電図のQ波は、心房の興奮、QRS幅は、心室の興奮時間、ST部分は、心室内興奮の持続、T波は、心室の興奮がさめる過程をあらわしている。
- c. 心房細動は、心房各部が絶えず不規則な興奮、収縮を続け、血液を拍出できない状態であり、数分以内に回復しない場合には、死に至る致死的な不整脈である。
- d. 心室頻拍の中で発作時の心電図上のQRSがある軸を中心に下向きから上向き、さらに下向きとTwistするような波形をTorsades de pointesと言い、心室細動に移行しやすい危険な不整脈である。
- e. シシリアン・ガンビットの抗不整脈薬の分類では、Naチャンネル遮断を主たる作用とするクラスIの薬剤の中でさらに活動電位持続時間を延長するもの(クラスIa)、短縮するもの(クラスIb)、不変のもの(クラスIc)に分類されている。

1 (a, c)    2 (a, d)    3 (d, e)    4 (b, c)    5 (b, e)

**問7 次の高血圧に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。**

- a. 前負荷とは静脈環流量による容量負荷、後負荷とは末梢血管抵抗による圧力負荷であり、その増大はいずれも血圧を上昇させる。
- b. 高血圧の持続は、腎臓において糸球体内圧の低下をきたし、糸球体障害、さらには腎不全などの腎障害を引き起こされる。
- c. 高血圧治療の目的は、心血管病の発症予防、およびそれらによる死亡の抑制である。
- d. 高血圧治療ガイドライン2004では、糖尿病患者や腎障害患者の血圧を140/90mmHg未満としている。
- e. 医療環境(外来など)で測定した血圧は、常に高血圧で、非医療環境下で測定した血

圧は、常に正常である状態を仮面高血圧という。

1 (a, c) 2 (a, d) 3 (d, e) 4 (b, c) 5 (b, e)

問8 次の脂質異常症に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 脂質異常症とは、LDL コレステロール値 140mg/dL 以上、HDL コレステロール値 40mg/dL 以上、血清中性脂肪値 150mg/dL 以上のいずれか1つの存在をいう。
- b. 動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2007 での脂質異常症管理目標値として、糖尿病がある場合の LDL コレステロール値は、120mg/dL 未満が設定されている。
- c. プラバスタチンナトリウムは、コレステロール合成の律速段階である HMG-CoA 還元酵素を阻害することにより、肝臓における LDL レセプターの活性を高め、血中からの LDL クリアランスを低下させる。
- d. HDL はコレステロールを肝臓から末梢組織へ運搬する働きを持ち、LDL は余分なコレステロールを末梢組織から肝臓へ回収する働きを持つ。
- e. HMG-CoA 還元酵素阻害薬の副作用である横紋筋融解症は単独でも発現しうるが、フィブラート薬、ニコチン酸誘導体などとの併用により発現率が高まることが知られている。

1 (a, b) 2 (a, d) 3 (b, e) 4 (d, c) 5 (c, e)

問9 次の中耳炎に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 細菌感染の経路は、大部分が経外耳道性である。
- b. 起炎菌は、5歳以下ではインフルエンザ菌が多く、それ以後では溶血性連鎖球菌、肺炎球菌が多い。
- c. 鼓膜に発赤や膨隆がある時、耳痛が高度の時、高熱が続く時には、鼓膜切開を行い局所の分泌物を吸引し、抗生物質配合の副腎皮質ステロイド剤を点耳する。
- d. 麻疹や猩紅熱などの急性感染症による中耳炎では、内耳炎を併発したり、難聴を残すことは稀である。
- e. 滲出性中耳炎による難聴は、骨導聴力と気導聴力とが同様に低下する感音難聴である。

1 (a, c) 2 (a, e) 3 (b, c) 4 (b, d) 5 (d, e)

問10 次の緑内障に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 房水は、毛様体突起の毛様体上皮細胞から後房に産生され、瞳孔を通り前房に入り、主に隅角線維柱帯にあるシュレム管を介して房水静脈に入り眼外に流出される。
- b. 眼球局所、全身的にはなんら視神経障害を説明する異常がないにもかかわらず、緑内障性視神経障害が見られることがある。
- c. 狭隅角眼では、虹彩と隅角が接着を起こし、急性緑内障発作を発症することがある。
- d. 急性緑内障発作時には、プロスタグランジン誘導体の点眼を行う。
- e. 副腎皮質ステロイド剤による眼圧上昇は、不可逆的で、投与を中止しても、眼圧は元に戻りにくい。

- 1 (a, b, c)    2 (a, b, d)    3 (a, c, e)  
 4 (b, d, e)    5 (c, d, e)

### (Ⅲ 薬物療法)

問11 次の糖尿病治療薬に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 一般的にI型糖尿病(インスリン依存性糖尿病)では、インスリンの効果が低い。
- b. スルフォニル尿素薬は、ATP感受性K<sup>+</sup>チャネルを阻害して膵ランゲルハンス島β細胞を刺激して、内因性インスリンの分泌を促進する。
- c. α-グルコシダーゼ阻害薬を服用している患者で、低血糖症状が発現した場合には、ブドウ糖を摂取する必要がある。
- d. ビグアナイド薬は、肝臓での糖新生の抑制、消化管からの糖吸収の抑制、末梢組織でのインスリン感受性の改善などにより、血糖降下作用を発揮する。
- e. ピオグリタゾン塩酸塩は、末梢(筋肉など)および肝臓におけるインスリン抵抗性を改善することにより血糖を低下させる。

	a	b	c	d	e
1	正	誤	正	誤	正
2	誤	誤	正	誤	誤
3	正	正	誤	誤	正
4	誤	正	正	正	正
5	誤	正	誤	正	誤

問 1 2 次の鼻アレルギーの診断と治療に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. ロイコトリエン受容体拮抗薬は、鼻粘膜の容積血管拡張や血管透過性を抑制し、抗好酸球遊走作用により、鼻閉、くしゃみ、鼻汁を改善する。
- b. トロンボキサン<sub>A<sub>2</sub></sub>受容体拮抗薬は、プロスタグランジン<sub>D<sub>2</sub></sub>の好酸球遊走作用を抑制し、くしゃみ、鼻汁を改善するが、効果発現までに4週間程度を要する。
- c. オキサトミドは、幼児（2歳以下）において錐体外路症状の発現のおそれがあるため、1回最高用量はオキサトミドとして0.75mg/kgである。
- d. フェノチアジン系のプロメタジン塩酸塩は、2歳未満の乳幼児には禁忌であるが、前立腺肥大症など下部尿路の閉塞性疾患に対する禁忌はない。
- e. エバスチンは、エリスロマイシンとの併用で代謝物のカレバスチンの血漿中濃度が約2倍に上昇することが報告されているため、併用禁忌である。

- 1 (a, b, c)    2 (a, b, d)    3 (b, c, e)  
4 (a, d, e)    5 (c, d, e)

問 1 3 次の骨粗鬆症治療薬に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. エチドロン酸二ナトリウムは、200～400 mg を1日1回食直前に2週間経口投与し、その後10～12週間休薬するという周期的間欠投与療法を行う。
- b. アレンドロン酸ナトリウム水和物35mg錠は、週1回起床時にコップ一杯の水で服用し、服用後30分は横になってはならない。
- c. カルシトニン製剤は、鎮痛作用を有するので、疼痛を訴える骨粗鬆症患者にすすめられる。
- d. ラロキシフェン塩酸塩は、組織特異的にエストロゲン受容体アゴニストあるいはアンタゴニストとして作用し、骨折の発生を抑制するが、乳がんの発生率を高める。
- e. カルシウム製剤とビタミン<sub>K<sub>2</sub></sub>製剤の併用時には、高カルシウム血症に注意する。

- 1 (a, b)    2 (a, d)    3 (b, c)    4 (d, e)    5 (c, e)

問 1 4 次の血液・造血器に作用する薬剤に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. エリスロポエチン製剤は、顆粒球前駆細胞に直接作用し好中球への分化誘導を促進するため、小児再生不良性貧血に伴う好中球減少、AIDS やがん患者の好中球減少に有効である。
  - b. オザグレルナトリウムは、トロンボキサン合成酵素を選択的に阻害してトロンボキサンA<sub>2</sub>の産生を抑制し、PGI<sub>2</sub>の産生も抑制する。
  - c. ワルファリンカリウムは、主にCYP2C9により代謝されるが、1A<sub>2</sub>、3A<sub>4</sub>なども関与するためオメプラゾール、シメチジン、アルコールなどにより作用が増強されることがある。
  - d. チクロピジン塩酸塩、クロピドグレル硫酸塩は、血小板のADP受容体に結合し、血小板膜糖タンパクの活性化を阻害するが、この作用は血小板に特異的でありプロスタグランジン系には影響しない。
  - e. ミリモスチム(M-CSF)製剤は、単球・マクロファージ系前駆細胞に作用し、分化・増殖を促進させるとともに、それら成熟細胞に作用し、顆粒球コロニー刺激因子、顆粒球・マクロファージコロニー刺激因子を産生させる。
- 1 (a, b, d)    2 (a, b, e)    3 (a, c, e)  
 4 (b, c, d)    5 (c, d, e)

問15 次の大腸がんの化学療法に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 進行・再発大腸がんに対する併用療法として、レボホリナートカルシウム/5-FUにイリノテカン塩酸塩を併用するFOLFIRI療法などが承認されている。
  - b. オキサリプラチンによる急性・慢性神経障害に対して、投与前後にCa, Mgを静脈内投与することが有効といわれている。
  - c. オキサリプラチンの溶解・希釈には、生理食塩液など塩化物を含む溶液では分解するので、5%ブドウ糖液を使用する。
  - d. イリノテカン塩酸塩の骨髄抑制などの発現を防止するために、投与予定日の白血球数が300/mm<sup>3</sup>未満または血小板数が1万/mm<sup>3</sup>未満の場合は投与を中止または延期する。
  - e. 進行・再発大腸がんに対するFOLFOX療法における基本的なオキサリプラチンの投与量は、100mg/m<sup>2</sup>を1日1回2時間かけて点滴静注する。
- 1 (a, b, c)    2 (a, c, d)    3 (b, c, e)  
 4 (a, d, e)    5 (b, d, e)

問 1 6 次の貧血と治療薬の組み合わせの正誤について、正しい組み合わせはどれか。

(貧血の種類)	—————	(治療薬)
a. 腎性貧血	—————	エリスロポエチン
b. 鉄欠乏性貧血	—————	硫酸鉄
c. 溶血性貧血	—————	タンパク同化ホルモン
d. 巨赤芽球性貧血 (悪性貧血)	—————	ビタミンB <sub>12</sub>

	a	b	c	d
1	誤	正	誤	誤
2	正	正	誤	正
3	誤	正	正	正
4	誤	誤	正	正
5	正	誤	誤	誤

問 1 7 次の免疫抑制剤に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. シクロスポリンの従来製剤からマイクロエマルジョン製剤へ切り換えるとき、両製剤間には生物学的利用率に差がないので、そのままの投与量で切り換える。
- b. シクロスポリン製剤投与中は、腎・肝・膵機能障害などの副作用が起こることがあるので頻回に臨床検査を行う。
- c. シクロスポリン製剤投与中に下痢が続いても吸収の良い製剤なので、そのまま投与を続ける。
- d. タクロリムス水和物製剤のうち、カプセル剤と顆粒剤の生物学的同等性は証明されていないので、切り換えるときは血中濃度を測定した後、変動がないことを確認する。
- e. シクロスポリンならびにタクロリムス水和物とも、主に薬物代謝酵素 CYP2C9 で代謝されるので、本酵素活性に影響する医薬品・食品と併用する場合には、慎重に投与する。

	a	b	c	d	e
1	正	誤	正	誤	正
2	誤	正	誤	正	誤
3	正	誤	正	正	誤
4	誤	正	正	誤	誤
5	正	誤	誤	誤	正

問 1 8 次の薬物の生体への影響に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. ドネペジル塩酸塩は、アセチルコリンエステラーゼを不可逆的に阻害することにより、脳内アセチルコリン量を増加させ、脳内コリン作動性神経系を賦活化する。
- b. フロセミドの利尿作用は、主として遠位尿細管におけるアルドステロン拮抗作用による。
- c. ガチフロキサシン水和物の内服剤は、糖尿病患者に禁忌である。
- d. オメプラゾールの代謝には CYP2C19 が関与するが、本酵素の遺伝子多型は報告されていない。
- e. ファモチジンは、腎透析患者においても投与量を補正する必要はない。

	a	b	c	d	e
1	正	正	誤	誤	正
2	正	正	正	正	誤
3	誤	誤	正	誤	誤
4	正	誤	正	正	正
5	誤	正	誤	正	正

問 1 9 次の薬物に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 慢性心不全の患者にエナラプリルマレイン酸塩を開始または増量する際には、心不全や体液貯留（浮腫、体重増加）の悪化がみられることがある。
- b. リスペリドンは、ドパミン D<sub>2</sub> 受容体拮抗作用を有するが、セロトニン 5-HT<sub>2</sub> 受容体には作用しない。
- c. 甲状腺機能低下症の治療には、効果発現が早く、持続時間が短いリオチロニン Na (T<sub>3</sub>) 製剤が第 1 選択薬である。
- d. 流行ウイルスと抗原型が一致したインフルエンザ HA ワクチンを接種した患者では、非接種患者に比べて、本ウイルスによる死亡率は低い、罹患率は変わらない。
- e. イトプリド塩酸塩は、ドパミン D<sub>2</sub> 受容体拮抗作用とアセチルコリンエステラーゼ阻害作用により、消化管運動を亢進させる。

	a	b	c	d	e
1	正	誤	誤	誤	正

2	誤 正 誤 正 誤
3	正 正 誤 正 正
4	正 誤 正 正 誤
5	誤 誤 誤 誤 正

問 2 0 次の医薬品の適正使用に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. ナテグリニドは、少なくとも食前 30 分までに服用する。
- b. インドメタシンフェルネシルは空腹時投与で吸収が低下するので、食後または牛乳などと同時に服用する。
- c. ニトログリセリン舌下錠は、スプレー剤よりも薬効の発現がはやい。
- d. モルヒネ製剤は、強オピオイドに分類され、高度の痛みに対して用いられる。
- e. ニューキノロン系抗菌薬は、単独使用においても痙攣を誘発することがあるため、腎障害患者や高齢者などへの投与にはより注意が必要である。

- 1 (a, b, c)    2 (a, c, d)    3 (a, b, e)  
 4 (c, d, e)    5 (b, d, e)

問 2 1 次の注射剤に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. フロセミド、フェニトインナトリウム、ガベキサートメシル酸塩の注射液は、アルカリ性であり、酸性注射液と配合変化を起こしやすい。
- b. ニトログリセリン、イソソルビド硝酸塩、シクロスポリンの注射液は、ポリ塩化ビニル製の輸液セットに主薬が吸着されて含量低下を起こしやすい。
- c. カリウム注射液を投与するときは、濃度 40mEq/L 以下、速度 20mEq/時以下とし、1 日投与量 100mEq を越えてはならない。
- d. 乳酸リンゲル液は、細胞外液の補給・補正に加えて代謝性アシドーシス改善作用も有する。
- e. シスプラチンは塩素イオン濃度の高い溶液中では分解が早まるので、通常、注射用蒸留水に溶解して使用する。

- 1 (a, b, e)    2 (a, b, d)    3 (b, c, d)  
 4 (a, c, e)    5 (c, d, e)

問 2 2 次の肝不全時の栄養療法に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 肝硬変患者では、1日の必要熱量を3回でなく、4～6回に分割して摂取することが望ましい。
- b. 肝性脳症Ⅰ～Ⅱ度を呈する肝硬変患者は、タンパク摂取量を0.5 g/kg/日に制限し栄養管理を続ける。
- c. 分岐鎖アミノ酸は、血液-脳関門において、偽性神経伝達物質の前駆体となる芳香族アミノ酸（フェニルアラニン、オルニチン）と競合して肝性脳症の発生を防止する。
- d. 肝不全時には、アルギニン非含有の輸液を使用することが望ましい。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	誤
2	正	誤	誤	誤
3	誤	正	正	誤
4	正	誤	正	正
5	誤	正	誤	正

問 2 3 次の高カロリー輸液療法（TPN）に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. TPN 施行時は、ビタミン B<sub>1</sub>を併用しないと重篤なアルカローシスを引き起こすことがある。
- b. 糖質としては、ブドウ糖が最も良く使用されるが、フルクトースやキシリトールなどの糖質を使用する場合もある。
- c. 肝不全時には、Fischer 比（分岐鎖アミノ酸/芳香族アミノ酸）を高めたアミノ酸製剤が使用される。
- d. 腎不全時には、必須アミノ酸と非必須アミノ酸のヒスチジンやアルギニンなどが含まれるアミノ酸製剤を投与する。
- e. ブドウ糖と脂肪乳剤を含む製剤が、従来、市販されなかった理由の一つとして、両者の共存時に起こるメイラード反応が挙げられる。

- 1 (a, b, d)    2 (a, b, e)    3 (b, c, d)
- 4 (a, c, e)    5 (c, d, e)

問 2 4 次の TDM における測定薬物と注意すべき臨床検査値の組み合わせの正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. ジゴキシシンと血清カリウム値
- b. メトトレキサートと腎機能検査値
- c. バルプロ酸ナトリウムと肝機能検査値
- d. バンコマイシン塩酸塩と腎機能検査値
- e. 炭酸リチウムと肝機能検査値

	a	b	c	d	e
1	誤	正	誤	正	誤
2	正	正	正	正	誤
3	誤	誤	正	正	誤
4	誤	正	誤	誤	正
5	正	誤	正	正	誤

問 2 5 次のジゴキシシンに関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 低カリウム血症があると、ジゴキシシンの血中濃度が上昇するので、患者の状態を見ながらジゴキシシンの減量を考慮する必要がある。
- b. うっ血性心不全の代償作用として心肥大を生じるが、その指標として心胸郭比（CTR）値が用いられ、この値が 50%以上のとき心肥大と診断される。
- c. ジゴキシシンの薬理作用は、陽性変時作用と陰性変力作用である。
- d. ジゴキシシン血中濃度は、分布が完了するまで薬物の実際の薬理効果を反映しないため、採血は、服用後 6 時間以降に行う必要がある。
- e. これまでジゴキシシンの有効血中濃度は 0.5~2.0ng/mL とされてきたが、0.5~0.8ng/mL で死亡率が有意に改善されることが示唆されたため、急性心不全に対しては、0.8ng/mL 以下の血中濃度が望ましい。

	a	b	c	d	e
1	正	誤	正	誤	正
2	誤	正	誤	正	誤
3	正	誤	正	正	誤

4	誤 正 正 誤 誤
5	正 誤 誤 誤 正

問26 次のリファンピシン併用による血中ジゴキシン濃度低下機序に関する記述について、正しいものはどれか。

1. キレート形成による吸収の阻害
2. 代謝酵素 CYP3A4 誘導による代謝の促進
3. 尿細管再吸収阻害による排泄の促進
4. P糖タンパク質機能誘導による吸収の阻害
5. タンパク結合率低下による組織分布の増大

問27 次の腎障害時における薬物動態・投与計画に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 酸性薬物においては、タンパク結合率が增加する 경우가多く、血中薬物濃度が治療域内にあっても有害反応を生じることがある。
- b. タンパク結合率が高い薬物は、血中アルブミンとの結合率が低下して分布容積は低下する。
- c. 腎排泄の割合が大きい薬物は、腎不全時の消失半減期が延長する。
- d. 分子量が小さく、タンパク結合率が低い薬物は、透析によって除去されやすい。
- e. 血清クレアチニン濃度は、年齢、性および体格に影響を受けないので腎機能の評価に利用されることが多い。

- 1 (a, b)    2 (a, d)    3 (b, e)    4 (c, d)    5 (c, e)

問28 次の妊娠中の薬物使用に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. クレアチニンクリアランスは、妊娠の後期になるほど基準値よりも高くなる。
- b. 胎児の重要な器官形成の時期である胎芽期3～8週に薬物を服用すると、分化・発育障害を引き起こす可能性がある。
- c. 関節リウマチや多発性硬化症などの自己免疫疾患は、妊娠中寛解し、出産後に増悪することがある。

- d. アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬やアンジオテンシン変換酵素阻害薬は、羊水過少や子宮内胎児死亡を起こすことがあり、妊娠中の高血圧に対して禁忌である。
- e. 妊娠中に起こる様々な生理機能の変化は、初産の場合にのみ特徴的に認められる。

- 1 (a, b, d)    2 (a, c, e)    3 (a, d, e)  
 4 (b, c, d)    5 (b, c, e)

問29 次の医薬品と重大な副作用との組み合わせについて、正しいものの組み合わせはどれか。

- | (医薬品)         | — | (重大な副作用) |
|---------------|---|----------|
| a. シクロホスファミド  | — | 脱水       |
| b. ダウノルビシン塩酸塩 | — | 心筋障害     |
| c. マイトマイシンC   | — | 出血性膀胱炎   |
| d. シスプラチン     | — | 間質性肺炎    |
- 1 (a, b)    2 (a, c)    3 (a, d)    4 (b, c)    5 (b, d)

問30 次のプレドニゾロン服用による副作用の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 骨粗鬆症    b. 緑内障    c. 白血球減少    d. 味覚障害    e. 血圧低下

	a	b	c	d	e
1	正	誤	正	誤	正
2	誤	正	正	正	誤
3	正	正	誤	誤	誤
4	正	誤	正	正	誤
5	誤	正	誤	正	正

問31 次の肝炎治療薬の重大な副作用とその副作用を回避するためにモニターすべき検査・検査値について、正しいものの組み合わせはどれか。

- | (治療薬) | (重大な副作用) | (検査・検査値) |
|-------|----------|----------|
|-------|----------|----------|

- |                |    |           |    |                         |
|----------------|----|-----------|----|-------------------------|
| a. グリチルリチン製剤   | —— | 偽アルドステロン症 | —  | 血清カリウム値                 |
| b. 小柴胡湯        | —— | 横紋筋融解症    | —— | ミオグロビン,<br>クレアチンホスホキナーゼ |
| c. リバビリル       | —— | 溶血性貧血     | —— | ヘモグロビン                  |
| d. ウルソデオキシコール酸 | —— | 間質性肺炎     | —— | 胸部X線検査                  |

1 (a, b)    2 (b, c)    3 (c, d)    4 (a, c)    5 (b, d)

**問32** 次の薬物相互作用に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. シプロフロキサシン塩酸塩は、薬物代謝酵素 CYP1A2 を阻害し、チザニジン塩酸塩の血中濃度を上昇させる。
- b. キニジン硫酸塩は、ジゴキシンの尿細管分泌に関与するP糖タンパク質を阻害し、ジゴキシンの血中濃度を上昇させる。
- c. 喫煙は、CYP1A2 活性を阻害し、テオフィリンのクリアランスを減少させる。
- d. グレープフルーツジュースは、肝臓でCYP3A4 を阻害し、シクロスポリンの生体内利用率を高める。
- e. セント・ジョーンズ・ワート（セイヨウオトギリソウ）の摂取によりCYP3A4 が誘導され、リトナビル®の生体内利用率が低下する。

1 (a, b, e)    2 (b, c, d)    3 (a, c, d)  
4 (a, d, e)    5 (b, c, e)

#### (IV 調剤と医薬品の管理)

**問33** 次の処方せん調剤の疑義照会に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 疑義照会の結果、処方内容の変更を生じなかった場合には、その記録を残さなくてもよい。
- b. 処方内容について、誤字などの明らかなミスを発見した場合には、薬剤師の判断で変更することができる。
- c. 疑義照会が不十分であれば、たとえ医師の指示どおりに調剤したとしても、事故に対する薬剤師の責任はまぬがれない。
- d. 配合不適の散剤の組み合わせについては、薬剤師の判断で別包にして調剤することが

できる。

- 1 (a, b)    2 (a, c)    3 (a, d)    4 (b, d)    5 (c, d)

問34 次の処方せん調剤・鑑査に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. リファンピシンは、通常1日1回、朝食前空腹時投与とする。
- b. メトトレキサート錠(2mg)は、通常1日1回起床時に投与とする。
- c. 薬価基準記載の日の属する月の翌月から1年を経過していない新薬は、投薬期間に上限が設けられている。
- d. 鑑査は医薬品情報などを統合して処方内容の妥当性を判断できる者が行う必要がある。
- e. 1回量包装の利点は、調剤薬鑑査を短時間でできることである。

	a	b	c	d	e
1	誤	正	誤	正	誤
2	正	正	誤	誤	正
3	誤	誤	正	正	誤
4	誤	正	誤	誤	正
5	正	誤	正	正	誤

問35 次の調剤に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 散剤調剤において、 $\beta$ -ガラクトシダーゼ製剤の賦形剤には乳糖を用いる。
- b. レボドパ散剤と酸化マグネシウムの配合により着色するが、そのまま調剤し患者にその旨の説明をする。
- c. 細胞毒性のある医薬品を調剤した後は、調剤者は十分な手洗いとうがいを行う。
- d. 細胞毒性のある医薬品の調剤は、クリーンベンチ内で行う。
- e. 抗悪性腫瘍剤の分包を行うときは、調剤者への汚染を避けるため自動分割包装機を用いる。

	a	b	c	d	e
1	誤	誤	正	誤	誤
2	正	正	誤	誤	正

3	誤 誤 正 正 誤
4	誤 正 誤 誤 正
5	正 誤 正 正 正

(V 医薬品情報)

問36 次の医療用医薬品の添付文書の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 効能・効果，用法・用量には明確な根拠が存在し，承認された範囲を逸脱する情報については記載することができない。
- b. 誤って大量に投与した結果生じた有害反応やそれに関連する注意について記載することができる。
- c. 添付文書と医薬品インタビューフォームは，どちらも製薬企業が作成する法的根拠のある情報源である。
- d. 医薬品添加物は医薬品インタビューフォームには記載されているが，添付文書には記載されていない。
- e. 有効成分の各種溶媒への溶けやすさは，添付文書に記載されている。

	a	b	c	d	e
1	正	誤	正	正	誤
2	誤	正	正	誤	正
3	正	誤	誤	正	誤
4	誤	誤	正	誤	正
5	正	正	誤	誤	正

問37 次の副作用情報に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 薬事法には，製薬会社が行う医薬品の適正使用のために必要な情報の収集に，医師，薬剤師などの医療関係者が協力するよう努めることとされている。
- b. 製薬企業は，市販後に発生する副作用についての情報を提供する義務を負っている。
- c. 市販後調査により収集された情報は，薬剤疫学の解析対象とはならない。
- d. 副作用の重篤度分類基準で副作用の程度は，グレード1～5までの5段階に分類されている。
- e. 適正な品質の医薬品を事前に関知りえた情報の範囲内で投与しても，予期しない副作用が出ることもある。

	a	b	c	d	e
1	誤	正	誤	正	誤
2	正	正	誤	誤	正
3	誤	誤	正	正	誤
4	誤	正	誤	誤	正
5	正	誤	正	正	正

問38 次の医薬品の緊急安全性情報に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. ゲフィチニブは、急性肺障害、間質性肺炎が報告されており、胸部X線検査などによる観察や初期症状（息切れ、呼吸困難、咳、発熱など）に関する注意喚起が必要である。
- b. ガチフロキサシン水和物は、重篤な低血糖、高血糖が報告されており、糖尿病患者に投与してはならない。
- c. ピオグリタゾン塩酸塩は、急激な水分貯留が報告されており、心不全およびその既往の患者には投与を避ける。
- d. アロプリノールは、劇症肝炎が報告されており、投与6ヶ月間は定期的な肝機能検査が必要である。
- e. 経口腸管洗浄剤は、腸管穿孔および腸閉塞が報告されており、患者が自宅で服用する際、服用前日または服用前に排便がない場合は、医師などに相談するよう指導する。

	a	b	c	d	e
1	誤	誤	正	誤	正
2	誤	正	誤	正	誤
3	正	正	正	誤	正
4	正	誤	正	正	誤
5	正	正	誤	誤	正

問39 次の医薬品情報に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 医薬品インタビューフォームは、日本薬剤師会の提唱により製薬企業が作成し薬剤師に提供するものである。

- b. 医療用医薬品製品情報概要は、日本製薬工業協会（製薬協）の作成基準によるもので、宣伝色の少ない文書である。
- c. 医薬品安全対策情報（Drug Safety Update）は、製薬協が会員企業の情報を定期的にまとめて提供している。
- d. 緊急安全性情報は、それまでに収集された重篤な副作用発現症例の解析結果に基づいた警告、禁忌、使用上の注意を厚生労働省が各医療機関に速報するものである。
- e. 緊急安全性情報は、対象医薬品を使用している医師にのみ迅速に情報提供すればよい。

	a	b	c	d	e
1	誤	正	誤	誤	誤
2	正	正	誤	誤	正
3	誤	誤	正	正	誤
4	誤	正	誤	誤	正
5	正	誤	正	正	正

#### （VI 患者への服薬指導）

問40 次の患者カウンセリングに関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 母乳中に移行しやすい薬剤を服用している妊婦には、生後1週間以内の新生児では薬物排泄能が不十分で血液脳関門も完成されていないため、出産後の授乳を避け人工哺乳とするよう指導する。
- b. 前立腺肥大症の患者には、抗コリン薬服用により排尿困難が悪化するおそれがあるため、風邪薬などの服用にあたっては医師や薬剤師に相談するよう指導する。
- c. 統合失調症治療薬を服用している患者には、薬剤の急激な中断により悪性症候群を誘発する危険性があるので、医師の指示を遵守して服薬するよう繰り返し指導する。
- d. 開放隅角緑内障の患者には、ベンゾジアゼピン薬剤服用により眼圧が上昇するおそれがあるため、睡眠導入剤などの服用にあたっては医師や薬剤師に相談するよう指導する。
- e. ビタミンE製剤服用中の患者には、ビタミンE製剤には先天異常増加の報告があるので、妊娠を希望する場合は医師に申し出るよう指導する。

1 (a, c)    2 (a, d)    3 (d, e)    4 (b, c)    5 (b, e)

問4 1 次の健康食品に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか

- a. 健康食品は、食品衛生法により定められており、一般に健康の保持増進に資する食品として販売・利用されるものを総称するものである。
- b. 健康食品のうち、国がその健康の保持増進効果を確認したのものとして保健機能食品がある。
- c. 保健機能食品には、特定保健用食品と栄養機能食品がある。
- d. 栄養機能食品は、主にビタミン、ミネラルといった人間の生命活動に不可欠な栄養素について、医学・栄養学的に確立した機能の表示を行った食品である。
- e. 健康食品には、栄養機能食品以外にサプリメント、健康補助食品、栄養補助食品、栄養強化食品、健康飲料といったものがあり、これらは国が何らかの効果を確認したものである。

	a	b	c	d	e
1	誤	正	誤	誤	正
2	正	正	誤	誤	正
3	誤	誤	正	正	誤
4	誤	正	正	正	誤
5	正	誤	正	正	正

問4 2 次の栄養管理チームにおける薬剤師の役割に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 栄養管理目的で投与される高カロリー輸液を無菌調製すること。
- b. 栄養管理に関する情報提供、処方鑑査を行うこと。
- c. 生化学的知識に基づき、最も適切な栄養輸液の投与設計を行うこと。
- d. 患者個々の病態を観察し、最も適した栄養管理法を提言すること。
- e. 高カロリー輸液を処方すること。

	a	b	c	d	e
1	正	誤	誤	誤	正
2	誤	正	誤	正	誤
3	正	正	誤	誤	正
4	正	誤	正	正	誤

5	正 正 正 正 誤
---	-----------

問43 次の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. プレアボイドとは、薬剤師が薬物療法に関連した患者の不利益を回避したり、最小限に留めたりするために行うファーマシューティカル・ケアの実践活動のことである。
- b. 「Get the Answers」とは、副作用が発生した際の速やかな報告を目的として行われているキャンペーンである。
- c. 医療用医薬品添付文書に記載されている副作用の発現頻度において、「まれに」とは、1%未満である。
- d. リファンピシンが処方されている患者に、「尿や便が橙赤色に着色することがありますが、心配はいりません」と服薬指導した。
- e. ミノサイクリン塩酸塩のカプセル剤が処方されている患者に、「多めの水で服用し、就寝直前の服用は避けてください」と服薬指導した。

	a	b	c	d	e
1	正	正	誤	正	正
2	正	誤	誤	正	正
3	誤	誤	正	誤	正
4	誤	正	正	誤	誤
5	誤	誤	誤	正	誤

(VII 製剤)

問44 次の製剤に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 眼軟膏剤の基剤としてワセリンとプラスチックベースがある。
- b. 点眼液の溶媒として注射用水を用いることができる。
- c. 内用液剤の賦形剤として常水は用いてはいけない。
- d. 水溶性基剤としてマクロゴール軟膏があり、水分を約50%含んでいる。
- e. W/O型乳剤性基剤に親水軟膏があり、皮膚に塗布すると水分が蒸発して、O/W型に転相する。

- 1 (a, b)    2 (d, e)    3 (a, e)    4 (b, c)    5 (c, d)

問45 2M塩化ナトリウム水溶液(原液)を用いて、0.9w/v%の塩化ナトリウム水溶液100mLを調製する場合に、必要とする原液の量(mL)に最も近い数値は次のどれか。ただし、ナトリウムと塩素の原子量はそれぞれ23.0と35.5とする。

1. 1.5 mL    2. 3.1 mL    3. 6.2 mL    4. 7.7 mL    5. 15.4 mL

問46 医師からの依頼により2%ジブカイン塩酸塩注射液50mLを調製することになった。生理的な浸透圧に調整するために塩化ナトリウムを添加する場合、何g必要か。下記から最も近い値を選択せよ。ジブカイン塩酸塩の食塩価は0.13とする。

1. 0.26 g    2. 0.32 g    3. 0.39 g    4. 0.52 g    5. 0.64 g

問47 次のドラッグデリバリーシステムに関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. ブセレリン酢酸塩の経鼻投与製剤は、薬物の全身循環血への吸収を目的として用いられる。
- b. リュープロレリン酢酸塩を含有させた乳酸・グリコール酸重合体を用いたマイクロカプセルの注射剤は、腫瘍部位への標的化を目的として用いられる。
- c. 大豆油とレシチンで調製した脂肪乳剤(リピッドマイクロスフィア)は炎症部位への薬物運搬体として用いられる。
- d. リポソームは、脂質二分子膜からなる閉鎖小胞で、脂質相および水相の両方の相を有しているため、脂溶性および水溶性いずれの薬物も包含することができる。
- e. 初回通過効果の大きい薬物は、徐放性製剤にすることによってバイオアベイラビリティーが増大するという利点がある。

- 1 (a, c)    2 (b, e)    3 (a, d)    4 (b, c)    5 (d, e)

#### (VIII 創薬と育薬)

問48 次の臨床研究に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 臨床研究においては、被験者の福利に対する配慮が科学的小よび社会的利益より優先される。
- b. 臨床研究における倫理規範を定めた「ヘルシンキ宣言」は、WHO (World Health Organization) によって定められた。
- c. 臨床研究は、ヒトそのものを対象とするもので、個人を特定できるヒト由来の試料やデータは対象に含まれない。
- d. 患者に対する診断および治療のみを目的とした医療行為は、臨床研究ではない。
- e. 国内において疾患 A には使用を認められている医薬品を、使用を認められていない別の疾患 B に使用する場合は、臨床研究に含まれる。

- 1 (a, b, c)    2 (a, d, e)    3 (b, c, d)  
 4 (a, c, e)    5 (b, d, e)

**問 4 9** 次の臨床試験に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 臨床試験は、非臨床試験（動物実験）に続いて、臨床薬理試験、探索的試験、検証的試験の順に進められる。
- b. CRC (Clinical Research Coordinator) とは、GCP には明記されていないが、臨床試験を支援する協力者（治験協力者）に含まれる。
- c. GCP とは、医薬品だけでなくすべての臨床試験を規制する省令である。
- d. GCP における「モニタリング」とは、治験や製造販売後臨床試験が実施医療機関において適正に行われているかについて医薬品医療機器総合機構が行う調査のことである。
- e. GCP における「監査」とは、治験や製造販売後臨床試験によって収集された資料の信頼性を確保するために厚生労働省が行う調査のことである。

- 1 (a, b)    2 (a, d)    3 (d, e)    4 (b, c)    5 (c, e)

**問 5 0** 次の悪性腫瘍薬の臨床試験に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 第 I 相試験は、通常、健常人を対象として実施される。
- b. Fibonacci の変法とは、最大耐量を決定するための投与量増量法のことである。
- c. 抗悪性腫瘍薬の臨床評価方法に関するガイドラインは、殺細胞性薬剤に適応され、分

子標的薬剤には適用されない。

- d. 腫瘍縮小効果の判定は RECIST (Response Evaluation Criteria in Solid Tumors) を標準とする。
- e. 第Ⅱ相試験では、通常、生存期間や生存率がエンドポイントとして設定される。

	a	b	c	d	e
1	正	誤	正	誤	正
2	誤	正	正	正	誤
3	正	正	誤	誤	正
4	正	誤	正	正	正
5	誤	正	誤	正	誤

問5 1 次の製造販売後調査に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 医療機関は、製薬企業に義務付けられた医薬品の製造販売後調査に協力する必要はない。
- b. GVP (Good Vigilance Practice) は、製造販売後の調査や試験の実施を規定している。
- c. 市販直後調査は、発売後半年間に重篤な副作用を漏れなく収集するための制度である。
- d. 特定使用成績調査の中には、長期使用患者における調査が含まれる。
- e. 製造販売後臨床試験は、GVP に従って実施しなければならない。

1 (a, b)    2 (a, d)    3 (b, e)    4 (c, d)    5 (c, e)

問5 2 次の後発医薬品の製造承認申請を行う場合に必要な資料 (○印) を記載した組み合わせとして、正しい組み合わせはどれか。

資 料		1	2	3	4	5
製造方法並びに規格及び試験方法などに関する資料	1 構造決定及び物理的・化学的性質など					
	2 製造方法		○	○	○	
	3 規格及び試験方法	○				○
安定性に関する資料	1 長期保存試験	○	○			
	2 苛酷試験	○		○	○	

	3 加速試験		○	○		○
吸収, 分布, 代謝, 排泄に関する資料	1 吸収					
	2 分布					
	3 代謝					
	4 排泄					
	5 生物学的同等性	○	○	○	○	○
	6 その他の薬物動態					

(IX 薬学と社会)

問53 次のコミュニティファーマシーに関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 病院・診療所の前に立地し、集中的に処方せんを受け付ける「門前薬局」は、違法である。
- b. 保険医療機関と一体的な構造である、または保険医療機関と一体的な経営を行う第二薬局は禁止されている。
- c. 医薬分業率には、大きな地域差は認められない。
- d. 「保険薬局および保険薬剤師療養担当規則」では、誘導された処方せんに対する代償の供与の禁止を規定している。
- e. 院内処方せんは相互作用・禁忌の発見には最適である。

	a	b	c	d	e
1	正	誤	正	正	正
2	誤	誤	正	誤	誤
3	誤	正	誤	正	誤
4	誤	正	誤	誤	誤
5	正	正	正	誤	正

問54 次の社会保険制度と薬剤経済に関する記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 政府管掌健康保険には、国家公務員など共済保険が含まれる。
- b. 市町村国民健康保険は、被用者保険加入者および自営業者の職域別加入者を除く一般国民を対象とした保険である。

- c. 共済組合保険は、公務員や公共事業の職員を対象とする特定被用者保険である。
- d. diagnosis procedure combination (DPC) とは、疾病を 500 程度にグループ分類し、診療報酬支払額の上限を定めた方法である。
- e. DPC の導入は、後発医薬品の使用の増大を促している。

- 1 (a, b, c)    2 (a, c, d)    3 (a, d, e)
- 4 (b, c, e)    5 (b, d, e)

(X 危機管理)

問 5 5 次の感染対策チームに関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 院内における感染症の発生状況を監視することは、院内感染の拡大を防止することに役立つ。
- b. 薬剤師は、感染対策チームの一員である必要はない。
- c. 院内における消毒薬や抗生物質の使用基準の作成に関与することは、薬剤師の役割である。
- d. 院内感染対策としては、MRSA にのみ注意すればよい。
- e. 適切な消毒薬の選択も薬剤師の重要な役割である。

	a	b	c	d	e
1	正	誤	正	誤	正
2	誤	正	正	正	誤
3	正	正	誤	誤	正
4	正	誤	正	正	誤
5	誤	正	誤	正	正

問 5 6 次の米国 Centers for Disease Control and Prevention (CDC) がスタンダードプリコーション（標準予防法）として推奨する記述について、正しいものの組み合わせはどれか

- a. ワクチンなどの予防接種
- b. 石鹼を使う手洗い
- c. 手袋の着用
- d. ガウンの着用

e. 無菌病室の使用

- 1 (a, c, e)    2 (a, b, d)    3 (b, c, d)  
4 (b, c, e)    5 (a, d, e)

問57 次の消毒剤のうち、手術時の手洗いに使用する消毒剤として正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 塩化ベンザルコニウム  
b. クロルヘキシジングルコン酸塩  
c. 次亜塩素酸ナトリウム  
d. グルタラール  
e. ポビドンヨード

- 1 (a, c)    2 (b, d)    3 (b, e)    4 (c, d)    5 (a, e)

問58 次のインシデントとアクシデントに関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 「アクシデント」は、通常、医療事故に相当する用語として用いる。  
b. 「ヒヤリ・ハット」は「インシデント」と同義である。  
c. 患者が受診した医療機関の廊下で転倒した場合、医療事故とならない。  
d. 勤務中、患者に使用した注射針を薬剤師が誤って自分に刺してしまった場合、医療事故となる。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	正
2	正	誤	正	誤
3	誤	正	誤	正
4	正	正	誤	誤
5	誤	誤	正	誤

問59 日本病院薬剤師会が「誤った場合に危険性の高い医薬品」に指定し、使用時の取

り扱いに注意を喚起している医薬品について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 抗悪性腫瘍剤
- b. 糖尿病用剤
- c. 抗不整脈用剤
- d. ワルファリンカリウム製剤
- e. 特定生物由来製剤

- 1 (a, b, c)    2 (a, b, d)    3 (a, d, e)  
4 (b, c, e)    5 (c, d, e)

(XI 医療薬学関連英語)

問60 次の英語，日本語，略語の記述について，正しいものの組み合わせはどれか。

(英語)	(日本語)	(略語)
a. Informed Content	説明と同意	IC
b. Quality Account	品質保証	QA
c. Premarketing Surveillance	市販後調査	PMS
d. Good Clinical Practice	医薬品の臨床試験の実施に関する基準	GCP
e. Dose Limiting Toxicity	用量規制毒性	DLT

- 1 (a, b)    2 (a, c)    3 (c, d)    4 (d, e)    5 (b, e)

## 記述問題

問1 後発医薬品の普及を妨げる要因について、箇条書きで記せ。

問2 下記の a) と b) の2問から1問を選び、いずれかを○で囲んだ後、解答すること。

a) 抗がん剤による化学療法を安全に行うために医療従事者が留意すべき事項について記せ

b) 服薬コンプライアンスと服薬アドヒアランスの違いについて記せ。

問3 次の英文を読んで、下記の設問に答えよ。

The prevalence of cardiovascular risk factors continues to rise in obesity and diabetes mellitus, which have increased by 46% and 60%, respectively. The alarming increase in the prevalence of diabetes and obesity has resulted in the development of new and innovative drug therapies to assist in managing cardiometabolic risk factors. This advent creates many opportunities for pharmacists to evaluate patients' drug regimens and influence lifestyle modification. Pharmacists have numerous opportunities to recognize and recommend treatment for cardiometabolic risk factors and to increase patient compliance by educating patients and health care practitioners.

設問1：上記英文では、何の疾患に対して、どのような危険因子が存在するかを記せ。

---

---

---

設問2：本疾患に対して、薬剤師として貢献できることを記せ。

---

---

---